

話し合しましょう! 「きたコン」の正しい使い方

一人1台端末を活用した学びの充実に、ご家庭でもご協力をお願いします

令和4年1月

1 GIGA スクール構想について

GIGA スクール構想とは、一人1台端末と校内ネットワークを整備し、ICTを活用して、児童・生徒一人一人の理解度や特性に合わせた学びを通して、これからの時代を生きるために必要な力を育む国の施策です。

北区では、

- 発達段階に応じた ICTスキル習得の推進
- 個別最適な学びの実現
- 課題解決力向上に向けた主体的・対話的で深い学びの実現

などの基本方針を設定しています。

北区では、一人1台端末を「きたコン」という愛称で呼んでいます。

「きたコン」は、児童・生徒が自らの学びを充実させるために必要に応じていつでも活用できる、いわば「文房具」のように使うことを目指しています。

「きたコン」は、学校だけではなく、家庭学習や緊急時のオンライン授業等でも活用するため、毎日持ち帰ります。

また、電力容量の関係で学校では充電することができないため、家庭で充電することをお願いしています。

※Society5.0とは、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、人類社会発展の歴史における5番目の新しい社会の姿。

きたちゃん コンちゃん



2 「きたコン」の適正な使用について

児童・生徒が「きたコン」を適正に使用するためには、「情報や情報機器を扱う上で基になる考え方と態度」すなわち「情報モラル」を身に付ける必要があります。

この、「情報モラル」の育成や「健康」に留意した使い方について、学校と家庭が連携して指導していくことが大切です。

家庭で「きたコン」を活用する際は、以下のルールを守らせるようにしてください。

<情報モラルについて>

- ・個人のIDやパスワードは、自分だけのものであり、他の人に伝えない。
 - ・メッセージなどを送るときはだれかがいやな思いをしないように、内容をよく考えて送信する。
 - ・写真や動画、音声など人の作品を使うときには、その相手や持ち主から許可をもらう。
 - ・学習と関係のないWebページは閲覧しない。
- ※北区教育委員会では、フィルタリングや機能制限を設定しています。



<健康について>

- ・よい姿勢を保ち、目を画面から30cm以上離して使う。
- ・30分に1回は、20秒以上画面から目を離して、遠くを見るなど、目を休ませる。
- ・部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調節する。暗い部屋では使わない。
- ・寝つきをよくするため、寝る1時間前からは使わない。



3 家庭での約束について

家庭での「きたコン」の使い方を、お子さんと話し合って決めてください。

1. 使う時間について
(例: 「きたコン」を使う時間は、1日2時間までとする)

「きたコン」を使う時間は、1日 時間までとする。

2. 片付ける時間や場所について
(例: 「きたコン」は夜9時までにリビングに片付ける)

「きたコン」は、夜 時までに に片付ける。



※「きたコン」は、児童・生徒が学習で使用するために北区が貸与している端末です。
家庭でお子さんが適正に使用するためには、お家の方の見守りが必要です。

話し合いましょう! 「きたコン」の正しい使い方

令和4年1月発行

発行 東京都北区教育委員会事務局 教育振興部教育指導課

東京都北区滝野川2-52-10 電話03-3908-9287

刊行物登録番号 3-3-045